

第9回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
総務部会（会議録）

会議の名称 第9回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総務部会
開催日時 令和6年6月6日（月） 午後7時30分から
開催場所 山岡振興事務所 2F 大会議室
議題

- ・ 恵那市恵那南地区統合中学校基本構想
- ・ 令和5年度進捗状況及び「令和6年度活動計画
- ・ 新中学校の名称

公開非公開の別
出席者

公開
委員
安藤 善和
原田 英明
杉山 淳
小木曾 真由美
市岡 信宏
小木曾 美香
中垣 野歩
荻山 勝（Zoom 参加）
成瀬 久志
根崎 紀幸
堀 雄二
小笹 寿里
伊藤 桂子
丸山 尚子
井出 百合
伊藤 実千江

教育委員会

工藤 博也 青木 茂 西尾 功 古川 暉久
志津 博光 勝 有紀

副部会長 それでは皆様、予定の時刻になりまして、まだちょっと、ご欠席の方が……。

事務局 欠席の連絡は2名です。

副部会長 お二人欠席で、本日、お一人ズームでの参加ということで、定刻となりましたので、恵那南地区統合中学校準備委員会の第9回目です、総務部会を始めさせていただきます。よろしくお願いします。

それでは、部会長さんの挨拶の前に、1つ、事務局のほうから連絡があるということですのでよろしくお願いします。

事務局 申し訳ありません、今日のレジュメのほうなんですが、事前に配付させていただいたレジュメのほうに一部、間違いがありましたので、今日お配りさせていただいたレジュメと差し替えのほうをしていただきたいと思いますので、すいませんがよろしくお願いいたします。

以上になります。（「どこが違うんですか」と呼ぶ者あり）

会場を前回の会場のままにしてしまったところが、すいません。

副部会長 皆さん、無事にこちらに集まっていたけいるようです。

それでは、レジュメに沿って進めさせていただきます。

1 部会長挨拶

副部会長 まず初めに、原田部会長さんからご挨拶を頂きます。

部会長 着座に失礼します。皆さん、こんばんは。お仕事でお疲れのところという方がほとんどかと思いますが、9回になります、準備委員会総務部会にお集まりいただきましてありがとうございます。

活発なご議論をいただきながら、よりよい中学校の統合をどう進めていくかということについて、協力してやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

副部会長 ありがとうございます。

2 確認と協議の事項

副部会長 それでは2、確認と協議の事項に入ります。

本日、確認の内容が2点、前回の総会の折に、前回の総会の場でも出ました基本構想の確認のところ、新しく委員になられた方もいらっしゃるの、基本構想のところと、それからこの総務部会の各課題について、この後、どのように進めていくのか、その道筋について確認をしていきたいと思っております。

では、事務局のほうからお話をよろしくお願いします。

事務局 よろしく申し上げます。

それでは、まず基本構想のほうをお話をしたいんですが、これもう、事前に配られて、今年の委員の方はもう配られてお持ちであると思うんですが、今年度

委員になられた方でこの資料がない方、ちょっといらっしゃいます。今、資料配らせていただきますので手を挙げてください。

また、ちょっとどうしても今、見たいという方がいらっしゃったら、また予備がありますのでお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

なければ言ってください。遠慮なく言ってください。言っていただければ行きます。

それでは、説明をさせていただきます。恵那市恵那南地区統合中学校基本構想です。これに基づいて、新しい統合中学校をつくっていかうということになっています。皆様のご議論を頂きながら、恵那市教育委員会としてまとめさせていただきます。

めくってください。かいつまんでお話をさせていただきます。4ページ、5ページをご覧ください。

中学校統合基本方針は、1つは教育環境の充実でございます。もう1つが、地域との連携協働です。新しい中学校になったときに、新しい教育環境の中で、充実した環境の中で子供たちが成長できるような環境をつくっていくこと。それから、5つの地域が支えながら、新しい地域の中で連携や協働しながら、ふるさとのエリアを広げる中で5つの地域の主体者として子供たちが成長していくことを目指して、1つが教育環境の充実、それから地域との連携協働ということが軸として掲げられています。

6ページ、7ページをご覧ください。

大切にすることについても同じくです。教育環境の充実であること、それから地域との連携協働であること、それから、もう1つが非常に長距離になりますので負担の軽減ということを書かせていただいております。こういったことを大切にしながら、統合のほうを進めていきます。

それから4番、5番、校舎等跡地の活用、それから各小学校と連携等も述べさせていただきます。

それから8ページ、9ページです。これを図にしたものが10ページになります。

統合中学校の目指す姿、新しい学校として目指す姿は大きく3つです。1つが未来をつくる、2つが人とつながる、3つ目が地域と歩むです。

図のほうをご覧ください。こういうふうになっておるかと思います。未来をつくる、人とつながる、地域と歩む。これを柱にこの図がなっています。それで、未来をつくるというコンセプトでこういったもの、それから人とつながるというコンセプトでこういった内容、地域と歩むということでこういった内容です。特に、未来をつくるということでは、夢を持ち、努力する生徒を育成できるような学校をつくっていきたい。それから、人とつながるの中では、人との関わ

りの中で育つ生徒を育てていきたい。地域と歩むの中では、地域を知り、地域を愛する生徒をつくっていきたい。そういうことで、この3つの柱で、新しい学校をつくっていききたいと考えています。

11ページです。そういったことを行っていくためには、施設の環境整備等が必要ですので、そういったことを考えていききたいと考えております。

めくってください。12ページからは参考資料になります。1つ目が、人口推移それから出生数等の参考資料になります。

それから、14ページが小中学校の現状と将来の推計になります。

15ページからが、今までのこういった学校統合についての委員会等の取組みの経緯について説明したものになります。ここについては、ちょっと省略をさせていただきます。

以上のように、特に、戻っていただきます10ページ、ここの未来をつくる、人とつながる、地域と歩む、この学校をつくっていくために、皆さん方の協力を頂きながら、ぜひ令和8年4月にそういった子供たちが思いを持ちながら学校生活が始めてくるようにしていきたいということで考えております。どうかよろしくお願いします。

それが、(1) 恵那市恵那南地区統合中学校基本構想についてのご説明になります。

続けて、(2) まで説明をさせていただきます。

令和5年度総合部会の進捗状況及び6年度の活動計画についてです。

これについては、皆さんのお手元の方に事前に送らせていただきました。前回の部会の中で、やっぱり見取り図というか、今後のタイムスケジュールというのを知りたいということでご意見いただいておりますし、私どもも、そういった流れを理解しながら、あるいは流れを設計しながら進めていくほうが皆さんとの協議、それからお話しもスムーズに進むのではないかなということで考えております。

資料のほうをお願いします。ページが上と下で1、2と分かれていますので、ここの1、2のところでは呼ばさせていただきます。

1が表紙になります。2番です。第9回総合部会としてこれから話をしていくことですが、この(2)としては、恵那市恵那南地区統合中学校基本構想についてということで、先ほどお話をさせていただきました。

それから、これからお話しするのは、令和5年度総合部会の進捗状況及び令和6年度の活動計画です。

新中学校の名称については、後ほど協議の内容のところではちょっとお話をさせていただきます。

それではめくってください。3ページのところになります。

令和5年度総務部会の進捗状況です。合計7回の会のほうを開いております。以上の状況については、最初のほうは部会長、副部会長、第1回は選出、第2回は課題整理シートの確認、第3回で制服、体操服、かばん、上履きについてのご検討をいただきました。4回目についても、制服等のご検討及び校歌の制定についてのご検討、ご意見の聴取をいただきました。第5回についても校歌の制定、校名について、制服等について。6回目については校名についてと制服等について。第7回については、校名についてということで検討させていただいて、現在に至っております。

第8回目については、今年度5月に総会の後に顔合わせということで皆さん、集まっていたいて説明させていただきました。そのときに、こういう課題整理シートのほうをお配りしてあるわけですが、ちょっと見にくかったり、未来の見通しがちょっと弱いということのご意見いただいておりますので、そういったところについてはちょっと今回、資料で増やしてきております。

では、上記の3ページのところから持ってきますと、5年度に検討したこと、これをまとめてみますと、5年度に検討した事項については、新中学校の名称について、それから校歌の制定について、それから制服、体操服、かばん、上履きについて、広報活動についての議論があったかと思えます、

それから、5年度に未検討の事項としては、校章の制定について、校訓等の制定について、閉校記念式典について、開校記念式典について、これが未検討だったかと思えます。

5ページをご覧ください。

令和5年度に検討した事項が、先ほど言いました新中学校の名称、校歌の制定、制服、体操服、かばん、上履き、広報活動ですが、こういったことがだんだん進んできています。こういったことの中で、皆さんにご議論いただいたり、調査研究をしたことを生かしながら、検討事項の議論を進めて具体化を図っていくことが、今年度の流れの大事なところになるかなというふうに思います。

では、まず議題1、新中学校の名称についてです。

校名について、令和6年4月より公募を行いました。5月10日まででした。結果については、資料の後半部分で後ほどまた、説明をさせていただきます。それで、この後についてですが、ご覧ください。7ページになりますが、一応こんなタイムスケジュールで考えております。

5月のところで、校名のアンケートの実施、アンケートの集計を行いました。6月、今です。上の矢印のあるところと下の矢印のあるところに分かれておるんですが、上の矢印のところは部会ということで、皆さんにご議論、あるいは皆さんのご意見をいただきたいというところになります。今回で行きますと、集計結果の報告です。それから、理事会総会等への提案の内容を決めていきたく

いということで考えております。

そうしますと、何かというと理事会総会のほうの準備を事務局のほうで進めて、ちょっと四角になっていますが理事会や総会を7月、これ、あくまで予定です。それから8月、理事会総会が済みますと、理事会や総会の結果の取りまとめを行って、議会等に進んでいくのかなということで思います。

議会については、議会審議内容の取りまとめを行い、皆さんに計画の報告という形になっていくのかなと思います。

続いてです。校歌の選定のほうをご覧ください。8ページです。

前年度で行くと、作詞者、作曲者としてふさわしい方について情報収集をして、明智のほうからちょっと1人、どうだということでお話を頂いたわけですが、そこまでしかまだ進んでません。今後、進めていかなければならないわけですが、それが9ページになります。9ページをご覧ください。

まず、6月から10月ぐらいまでなんですが、これも我々も何かというと校歌の制定の方法について、どんな方法があるか調査研究をちょっと進めなければ皆さんにご議論いただくにしてもバクツとしたご議論になってしまいますので、調査研究のほうを進めていきたいと考えております。それを受けて、作詞・作曲の方針の検討等を進めていく流れになるかと思えます。

それで、10月以降について、作詞作曲の依頼先の選定、それらをしながら皆さんに決めていただくというような流れになっていくかなと思います。

それで、4月、5月、6月の中で、顔合わせ等がありますが、作詞作曲依頼作業の準備、8月、9月の中で経過報告、意見を頂きながら決定をしていきたいなということで考えております。

これについても、まだ案ですので、ちょっと前後することは当然、考えられます。よろしく申し上げます。

10ページです。制服、体操服、かばん、上履きについてです。

アンケートを実施させていただいておるかと思えます。方向性としては、制服、ジャージは指定のものとする、制服はジャケットスタイルで、下は選択できるものにするのがよいという形で意見をまとめさせていただいたということです。

それで、次が11ページです。議題5ですが、制服、体操服、かばん、上履きについて、またこの案でございます。6年度については今、協議内容の説明をしますが、6月のところで、今、課題の整理、それから業者の面談、学校への調査や照会等が必要になるかなということで思います。

特に、上履きなんかについては、安全面等もあります。それから、通学のかばんなんかで行くと重さもあります。通学の負担等もありますので、学校等の状況も踏まえながら、そういったことも踏まえながらちょっと調査をしていくこ

とが必要かなと思います。

その中で、皆さんに経過報告をしたり、意見聴取をしながらたたき台を決め、12月の終わりぐらいに業者の選定等に行きながら、来年度、周知のほうを進めていきたいというふうに考えております。

議題の8番です。広報活動についてです。正確な議事録を作成すること、それから議事録と通信の整合性を保つことの重要性について意見を受けましたので、広報活動については随時やっていきますが、また、ご意見を適宜頂きながらやっていきたいということで思っております。

14ページをご覧ください。

5年度に未検討だった事項が4点あります。これについては、議論を開示しながら具体化を図りたいなと思っております。必要に応じながら校長会等に依頼をして、学校現場での計画の原案の作成をお願いするものも当然出てくるかと思っております。

例えば、閉校式典ですが、また後ほども説明しますが、例えば閉校式典、3月に行いたいということがあるかもしれませんが、例えばそこで行くと、高校3年生の入試が絡んできます。それから、2月の終わりぐらいにも高校入試が絡んできますので、そういったことを考えたりすると、学校のやっぱり現状、こちらがどうしても3月この日にやりたいよということで、部会あるいは理事会、総会等が、言っても学校でそれがちょっとやっぱり難しいことも当然あるわけですので、こういったことも踏まえながら学校の状況、校長会等にその辺のところの状況を確認しながら進めていかざるを得ない部分があるかなということだと思います。

では、15ページご覧ください。校章の制定についてです。

校章の制定については、まずは調査研究が必要かなと思います。それから、校章の制定の手だてだとか方法の調査をしながら、皆さん方に制定の方法をどんなふうにしたらいいかをご要望いただけるといいのかなと思います。

来年度、頭のところで全体の公募をしながら、10月ぐらいには決定していけるといいかなということで考えています。

校訓等の制定です。校訓等の制定ですが、これは、ちょっと1つ、どうしても学校側というか、校長先生を中心とした先生方をお願いせなあかんところが、いわゆる教育計画、どんな子供を育てていくかという教育目標をつくっていただかなければなりません。その教育目標に反するような——反するようなものは出てこないと思うんですが——校訓が出てくる。それから、ちょっとずれたような校訓になってしまいますと、大変ちょっと苦しいところがあります。ですので、これについては、学校の教育課程とって、1年間、どんな授業をしてどんな子供を育てていくかという学校の教育方針、そういったものを校長先

生方にもご議論いただきながら決めていくことが必要かなということで考えております。

学校事務局ということですが、ほぼ学校のほうになるんですが、今、校長先生方を中心に、教頭先生やいろんな先生方に1年間の授業、新しい学校になったらどんなふうに進めていくのか。それから、例えばいろんな教材・教具なんかも、何かというと各校バラバラだとすごく困るので、そういったものを統一しながら今、進めています。例えば、今の新1年生の副教材なんかは、中学校で共通して同じものになるようにしています。中学校3年生になったときに、A中学校ではこういうものを持っている。例えば、社会の資料集はこういうものを持っているんだけど、B中学校は違うものを持っているということで、すごく困ることになってしまうので、そういった調整を進めてきました。今、そろえるようなことになっておりますが、そういったことを含めて、5校の調整をしていく。そういった細かい作業を積み重ねていく中で、恐らく教育のいろんなことを積み重ね、どんな子供たちを育てていくのか。当然、こういったところも基づくわけですけど、いい言葉というのをまた、校長先生を中心にどんな方向にするのか、またご意向も聞きながら決めていけるといいかなと思っております。

17ページのところです。閉校記念式典です。

閉校記念式典については、式典自身の調査研究です。まだ、調査研究をまず今年度に行いながら、当初予算の要求、閉校式典にどれぐらいお金がかかるものなのか。これをやっぱり調べていかなければならないので、そうしないと来年度の予算をちょっと取っていけないので、大体の予算については調べて当初予算のところで持っていきたいなというふうに思っています。

そういった中で、学校間の調整、いつ頃行うのか、こういったことを決めていかなければならないですし、たたき台を検討していかなければなりません。そういった中で、皆さんの意見を聞きながら、それから関係機関、当然のことながら学校だけで閉校式典をやるわけにも行きませんので、振興事務所であるとか、例えば学校運営協議会の皆さんとか、いろんな方のちょっと意見、関係機関の調整をしながらやっていくことが大事かなということで思います。

そういった中で方針を決めて、7年の4月以降は閉校に向けての行事の実施、どの事業も行事も「最後の」ということになってくるかと思っておりますので、そういった中で閉校式どうしていくのかを学校中心に決めていただけるといいかなと思います。

12月ぐらいになりましたら、式典の案内や準備が本格的に始まってくるのかなということで考えております。

閉校記念式典についてです。これについても、一応、当初予算を2回取って

ます。一応、4月初めに行うものだというので考えておりますので、7年度で正しい予算に恐らくなってくるかと思うんです。6年度についてはちょっとこれ、まだ細かなところまで当初の予算が取れるかどうか、ちょっと分からないところですが、同じように式典実施、どんなふうにしていくのか、先行事例も研究をしながら学校間での調整、それからたたき台の検討をしていただきながら、関係の機関の調整をしていきたいなと思います。来年度7年の6月ぐらいいまでは大体の概要を決めて、皆さんにお知らせをしながら、皆さんのご意見も頂きながら決めていきたいなということで考えております。

1月以降については、式典の案内・準備になるかと思います。

それで、8年の4月に開校式典の実施になります。まだ、日付とかそういったことはよく決まっていないところになります。

以上が、この総務部会の5年度の進捗状況の報告及び6年度の活動計画の案になります。

以上で、確認事項についての説明を終わります。

副部会長 今、説明いただいたとおり、この総務部会は令和8年4月の開校に向けまして、まずは学校名が今年中に決まることによって、校章ですとか、そこに学校名が入るものの製作等、関わって、それが次に控えているので、まず校名については今年中を目指す。そして、そのほか、保護者の皆さんの関心の高い制服、体操服等についても、できる限り今年度中にある程度の形をまとめていく。そして、来年度については、閉校の式典それから開校の式典に向けて、具体的に計画を詰めて、令和8年の4月を迎えていくという流れになっております。

基本構想については、既に保護者の皆様にもスグール等で昨年度のうちに発出がされておりますが、新しく委員になられた方で、特にこの基本構想について何かご質問がございましたらいかがでしょうか。

まず、新しく委員になられた方は、特にご質問はございませんか。よろしいですか。じゃあ、小笹さん、お願いします。

委員 前にも、多分この間もおっしゃっていたと思うんですけど、具体的なことというのはなかなか書かれてないなというところがあると思うんです。基本構想というのは、誰のための基本構想なのか、教えていただいてもいいですか。

事務局 事務局から答えます。当然のことは、子供のための基本構想になります。

ただ、こちらの部会あるいは教育委員会でがっちとしたものをつくってしまうと、何が困るかという、実際事業をやっている、それから学校行事をやっているときに、細か過ぎちゃうと選択の余地がないという、子供の実態と合わないことが出てきちゃったりします。

例えば、地域と歩むことでふるさと学習、当然、大事にしていきたいんですけど

ど、実際、計画をつくっていく中で、こちらが例えば1年生はこれやって、2年生はこれやって、3年生はこれやってと、そうやってすごくぎちぎちの案をつくってしまうと、ちょっと学校としてほかの行事との絡みだとか、例えばほかの授業の中で、教科の授業の中で、社会科なんかで地方自治を学ぶんですけど、そういったものを例えば1年生のときにそういったものを入れられちゃうと、やっぱり教育内容とずれてきちゃったりするものがあったりします。そうなる、ある程度こちらとしては、学校としてこういった学校像をつくってほしい、やってほしいと。ただ、細かなところは学校のほうでやっぱり、そういった具体的なところはつくってほしいというのが大事なところかなと思います。それは、やっぱり子供と先生の中でつくっていくことがすごく大事だなというふうに考えています。

委員 子供の意見も聞きながら・・・

事務局 もちろん、例えばどんな学校をつくりたいかという、やっぱり先生と新しく、ひよっとすると校訓なんかは、私はここで書かせていただいたんですけど、新しくできた学校の中で子供と先生方で決めていく方法もありかなとは個人的には思っています。ただ、当然、校訓のない学校も今現在あるわけですし、そういったところで行くと、やっぱり新しい学校の中で、やっぱり先生方と子供たちでこんな学校をつくっていききたいなということをぜひやってほしいなということで願っております。

委員 それで言うと、今の現状で、子供たちとかの意見を取り入れて基本構想の中に入れていくということはある得ますか。

事務局 生徒会交流なんかをしています。例えば、そういった中で、子供たちがどんな学校にしたいのかということをやっておくわけですが、そういった機会を生かしながら、少しずつやっぱり具体化していきたいということで思っています。ただ、生徒会交流といっても、いきなり例えば校訓についてだとかそんなことは当然できないですし、まずは今やっているところで行くと、子供同士で、うちの学校、「こんなキャンペーンをやっているよ」だとか、「こんな取組をやっているよ」ということを紹介しながら、例えば先生方の中で、新しい学校になったら、どんな生徒会の組織にしようかだとか、どんな委員会をつくっていかうだとかいうのは、やっぱり子供と先生の中でつくっていかないと難しいかなと思います。

ここの委員会の中で、学校のそういった細かなところまでやると、子供たちの選択の幅も狭めてしまいますし、先生方の選択の幅も狭めていっちゃうので、これを基に学校、子供たちについて、そういったことでやっていただけると一番いいかなと。それが、みんなで作る学校につながっていくかなということで考えております。

- 委員 ありがとうございます。せめて、特色として、例えば子供ファーストな学校ができるということをやっていたきたいなというのを思ったんです。それで、この間、私、夢見る校長先生っていう映画を見させていただいて、何か、せめて子供や保護者たちが、全員がそういう構想をみんなで考えられるような学校になったらいいなと思うんです。それで、ちょっと1個、提案なんですけど、夢見る校長先生っていうのをPTAとか教育委員会とか主体で、全校長でこの映画の公開をしてほしいなというのをすごい思ったんです。そうすると、もっと子供ファーストな学校ができたりとか、例えば地域の特色を生かすということで、例えば地域の農家さんの野菜を使ったオーガニック給食をつくったりとか、そういうこともできると思うんです。そうすると、じゃあこの過疎地にできた学校でも、都会からも来たいなという人が来るような学校ができると思うんです。そういうちょっとしたその特色ある学校というのをつくってほしいなと思って、ちょっとこの提案をさせていただきたいなと思います。
- 副部会長 また、この基本構想のこの内容を大きく変更するということについては、この総務部会で検討されることではありませんので、こちらで今、頂いたご意見については、またこの理事会等で、また関係する各部会のところで、そういったの今、ご提案いただいたような給食の食材のことですとか、そこについては反映できる部会のところでまた検討していただければと思いますので、ご承知おきください。お願いします。
- 事務局 今回の夢見る校長先生の映画の件、取りあえず今、できる、できないは何とも言えないんですけど、その映画のことをちょっと知りたいので、また学校統合のメールか何かはその情報を送っていただければと思いますけど、お願いできますでしょうか。
- 委員 これをお渡ししてもいいです。
- 事務局 よろしいですか。じゃあ、すいません、後でください。（発言する者あり）
- 副部会長 原田会長の奥さんもご覧になったそうです。それから、各課題についての見通しについてもお示しいただきましたが、今、ここでそのことについて、何かご質問等はございますか。よろしかったでしょうか。（発言する者なし）
- 事務局 ありがとうございます。続いて、協議の内容になります。3番の新中学校の名称について、まずは事務局のほうから説明をお願いします。
- 事務局 すいません、着座にて説明させていただきます。新中学校の名称についてですが、昨年からのいろいろ議論いただきまして、アンケートを取るという方向で決めていただきました。4月から5月10日まで校名アンケートのほうを取りまして、その結果についてまずまとめましたのでご

報告させていただきます。

19ページのほうをお願いいたします。

まず、応募の方法なんですが、インターネット……。ごめんなさい、まず、全てのご意見で合わせると109件のご意見が出てまいりました。そのうち、インターネットでの回答が57件と、52%ちょっとの方がインターネットで回答していただいております。そのほか、各振興事務所や郵送、市のロビーとかいうところで投票をしていただいた形になります。

投票の結果なんですが、20ページになります。

一番多かったのは45票、41%ですが、恵那南中学校になります。2番目が20票、18%で恵南中学校、3番目が7票、6%で南中学校、4位が知新館中学校、こちら2票になります。1.83%です。その他の校名が35出ております。その他というのは全部1票ずつということになりますので、その他の35票はそれぞれ違ったものという形になります。

次のページ行きますと、その他がどんな学校名が出てきたかというものを羅列しております。こちら、全部読み上げるようなことは今日はしないので、また確認いただければと思います。

一番多かった恵那中学校を選んだ方の理由を22ページに載せております。

理由としまして、現在、恵那東中学校、恵那西中学校、恵那北中学校がありまして、それとバランスが取れていいという意見が結構多かったです。また、5校の統合事情を考えると無理に独自性を出さなくてもいいんじゃないかというご意見もありました。あと、県大会や全国大会に出場したとき、恵那市の中学校とすぐ分かるので「恵那」という文字は入れたほうがいいんじゃないかというような意見がございました。

次のページお願いします。

今度、恵南中学校と回答した理由ということで、この地域を恵南と言うからということとか、あと漢字2文字、読み仮名4文字で非常に書きやすく読みやすいということとか、あと分かりやすくシンプルに恵南がいいんじゃないかというご意見です。

続いて南中学校とした方については、現在、東、西、北があるので南に位置するからということとか、分かりやすいからというような理由でいただいております。

ここまでがアンケートの結果になります。このアンケートの結果、1位の、一番票を多く取った恵那南中学校、2番目に多く取った恵南中学校、こちら、特にこの名称で何か問題あるという名称ではないと思いますので、この部会の案としまして、第1候補を恵那南中学校、第2候補を恵南中学校ということで、この2つの候補を総務部会の案として、今後、幹事会とか理事会に上げていっ

てはどうでしょうかというのが事務局からの提案になりますので、これとよいかどうかということをご判断いただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

以上です。

副部会長 そうしましたら、今、公募の集計について説明を頂きました。まず、この候補の集計について、何かご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしかったですか。（発言する者なし）

今、お話のあったとおり、この後、校名につきましては、先ほどのスケジュールのところにもあったとおり、幹事会、理事会を通して総会に諮って、そして議会等にも話を進めていくということになりますが、この部会では、まずは部会の案として1つに絞るのではなく、ご意見の多かったものを主にしまして、部会として複数案を提案していけたらというふうに考えております。

それで、理由についても、このようにそれぞれ保護者、地域の方が書いてくださっていますので、これらをつけて総務部会の案として、この校名をまとめていきたいと思いますが、このことについて、何かご意見、ご質問はございますか。お願いします。

委員 確認です。第1候補、第2候補、これを選定した事務局の理由なんですけれども、ごめんなさい、一番最初にこの基本構想をご説明していただきましたよね。この基本構想と校名の関連性はどのように判断して、この2校というふう選ばれたのか、お伺いしたいのですが、いかがでしょうか。

事務局 いいですか。まず、何かというと、総務部会として、公募ということで決まっておるかと思ひます。公募の中で、皆さん方のご意見として一番多かったものが第1候補、当然、第2候補がそれになります。

特に、学校をつくるというのは、この校名にこの理念を反映させるだけではないかと思ひますので、皆さんの候補の中で一番意見の多かったものが第1候補、第2候補、恵南中です。

委員 ということは、基本構想案とこの校名については全く関係がないという判断でよろしいでしょうか。

事務局 これ、ここの決まったものを、ここの中に当然付け加えていくので、当然、これが付け加わって、さっきも言ったように、さらに具体的なものを進めていくということになるかと思ひます。

委員 今、この案、意見された方に対してちょっと失礼なのかもしれないんですけども、回答した理由のところですけども、位置とか、何だろう、単純に覚えやすいとか、そういった内容で、何か僕からの意見からすると、この恵南地区でこの中学校がどうありたいかというような形の意見がここに記載されていないんです。もしかすると、その他のこの中にそういった意見が出ているんじゃない

いかなというのをちょっと自分は思っていて、できれば、その他の意見と、どうして回答したかの理由、校名をそうしたいよというふうに思っていると思うんですけども、そういったところを一度見せていただけないかなというふうに思うんですけども、そういったところも踏まえて、部会として、案として出すのはいかがかなというのが自分からの提案となります。

ごめんなさい、なので、1回、この全部の出た内容の109件に対して、こうした理由というのを全て、別に109件なので出すことが可能だと思うんです。その一覧を一度、出していただけないかなというふうに思うんですけども。

事務局 それは可能です。

委員 それを見て、部会でもうちょっともんだらどうかなというふうに思うんですけども。

なので、ここで2つに絞るんじゃなくて、そういった意見があるよというところの中で、別にこれ多数決で多いからそれにするというわけではないと、最初に校名を公募するときに言われたと思うので、そういった方法を取るのも一つの手かなというふうに思うんです。ごめんなさい、これ勝手な個人的な意見なので、皆さんが「いや、そんなの別に関係ないよ」と言われれば却下していただいて構いませんので、ぜひ。

こういった議論をしていかないといけないかなというふうに自分はすごく思っているんで、いかがでしょうかということです。

副部長 今のご意見について。

事務局 事務局としてちょっと思うところがあるんですが、公募としてすごくたくさん意見で、一番多いものを私どもは挙げました。なぜかという、もしここで、例えば公募の中で違ったものを部会として選んだときに、やはり何かというと、どういことが起きるかという、やっぱりその理由が薄弱だなという、どうしても薄くなってしまふなど。

やっぱり公募ということで、皆さんのすごく多くの意見を頂いたものが、やっぱりそういった思い、要するに「恵那南」というのが、恵南郷地域という思いも、そういったことで、「この地域」という思いも当然あるかもしれませんが、それはやっぱりこれ、分からないので、私どもとしてはやっぱり何かというと、一番多いもの、2番目のものというのをやっぱり公募としてすごく、候補として出していくのは大事かなと思います。

他の統合のところで見えていきますと、例えば1案しかなかったものを候補にしていくと、やっぱり議論の混乱が起きてくるということも想定されますし、やっぱりそうなると、やっぱり一番、第1候補としては当然、ここに書いてあるものも皆さん方の意見ですので、恵那として、やっぱり「恵那」という言葉がついていることの大切さ、それから当然、東、西、北で、やっぱり南というこ

と。統合上、無理に特異性を出さなくてもいいじゃないかというのも、当然、思いであろうと思いますし、そういったことで行くと、この第1候補、第2候補の順番が事務局としてはいいのかなということで考えておるところでございます。

委員 なので、1回全部、それぞれの案に対して意見を見せさせていただきたいなというふうに思うんですけど、それは可能なんです。それを見るだけでいいかなというふうに思ったんですけども。

事務局 出すことは可能です。もちろん、名前とか住所とかは消して、校名と理由だけ出すことは可能なんですけど、それで結論が変わるのかどうかということもあれかなと思って、今回は第1候補、第2候補で出させていただいたんですが、皆さん、この会として……。

委員 結論が変わるといふか、結論を出すためにそういった情報が必要じゃないですかということ。

事務局 皆さんがそういった方式のほうがよろしいかということであれば、そういった形で決められるのもありかなと思います。

委員 説明するに当たって、やはり情報をしっかりと把握するのは必要だと思うので、これだと抜粋した内容になってしまうので、もしかしたら抜粋した時点で偏った内容になっているという可能性もあるかもしれないじゃないですか。やっぱり、皆さんの視点で見るといふようなことが必要じゃないかなというふうに感じたというところです。

事務局 ほかの委員さんの意見も伺って判断したいと思います。

副部長 お願いします。

委員 先ほど選んだこの名前には、きっと後ろにいろんな理由があるんじゃないかという、ご意見を頂いてその通りだなと思ったんです。そうすると、例えば、この恵那南中学校を選んだ45人の方にも、ここはざくっとまとめて書いてあるんですけど、45通りの意見があるかもしれないですし、あと、この理由が、例えば恵那南中学校とするとバランスがよくなって書いてあるんですけど、これも私は十分理由だと思うんです。

ふるさとを大事にしていないかというところじゃなくて、これも恵那の中の1つ、南地区にある中学校として、そういう名前にしたほうが恵那で統一感があったり、そういうニュアンスで選ばれていると思うので、そういう意見がたくさん集まった45票だと思うので、重みというか、皆さんの総意はここにあるのかなってことを自分は思うので、1票の中の意見ももちろん大事なんですけど、そうするとこういう理由も大事にしてあげたいかなということになります。

委員 アンケートの結果を見ると、数で言うと、45ってというのはそんなに多くない数です。45票は取ったけど、そんなに多くないのであれば、この結果を見て、

子供たちが何がいかっていうのを聞いてみるっていうことだったりとか、その上位、幾つまでか分からないですけど出しておいて、理由と名前が票が多かったものを出したりとかして選んでもらったりとか、保護者の人たちにも聞くってというのはあるんじゃないかなと思います。

事務局 ひとついいですか。今、45票が少ないという話があったかと思うんですが、実はいろいろほかの事例も調べてきました。

例えば、東京都目黒区のほうで、目黒南中学校というのが7年に開校するんですが、28万人の人口の中で募集数が205件、同じく目黒西中学校、これも28万人の人口で256件。それから、米沢市、山形県のほうでこれ、8年の開校なんですけど、南西中学校これが130件、このところの人口が7万7,000人、同じく北西中学校、これが113件。それから、東成中学校、これも米沢市の学校ですが、これ118件。恐らく、公募すると人口比で見るとこれぐらいの数かなと。何かというと、割合、この学校名になるんじゃないか、公募という形でやっておるので意見を出さない人も当然いますし、それからこうなるんだろうなと思っている人もいるし、積極的に応募しない方もいるかと思えます。それから、中津川市の福岡小学校が統合して福岡小学校になっていると思うんですが、あそこは、ちょっと公募の仕方が全市民じゃなかったんですけど、保護者全員に取りあえず配ったんですが、それでも75件。数としては、何かと言うとこれが少ないわけではないのかなと思います。

45件にはやっぱり45件、積極的に応募された、その期間の中で応募された方々の思いが詰まっているかと思うので、それをやっぱり考えると、私どもとしては何かと言うとその方々の思いを含めてやっぱり一番多いもの、それから2番目のものをやっぱり意見として持っていきたい。やっぱり、それで例えばこれまた、いろんなことをやって、例えば募集期間を伸ばしたり、あるいは違った結果になってしまうと、今度は議論が錯綜して混乱を来すことになるかと思うんです。そういったときに、私ども総務部会としても、説明が非常に付けにくいことになってくる、ややこしいことになってくるのではないかなと思います。

そうしたときに、やっぱり公募として5月10日までということで決めたものである以上、5月10日までのところの意見で出てきたものを、総務部会として私どもが責任を持ってやったことなので第1候補、第2候補として出すのはいかがかということで、皆さん方に意見を聞いておるところでございます。

副部会長 ほかにご意見がある方、いかがでしょうか。（発言する者なし）

それでは、今、出ているご意見いただいたものをまとめますと、この109件の1票のものについても、理由を示していただいたものを改めて検討して、この総務部会の中で出す案を練ってはいかがかというのが1つ。それから、この

それぞれの頂いたご意見の思い、意見という、思いの重み、そういったところはどれも同じですので、このたくさんのご意見を頂いた上位のものを総務部会も尊重して候補としてはどうかという事務局案と、2つの案が出ております。この後、この総務部会で、皆さんで案として出すに当たってどちらがよいのか。これは決を……。

委員 ごめんなさい、いいですか。さっき、議論をするのが錯綜するというようなことを言われているんですが、それはちょっと違うなというふうに思っているの

事務局 議論を避けたがるというか、例えばもう1回、違ったアンケートが出てきた場合に、やっぱり説明がつかなくなりますよね。

例えば、成瀬さんがこのが校名がいいということでおっしゃられたとする。そうすると、例えばその意見がそれをこの部会でやって、これがいいとなったときに、じゃあ、この第1候補の一番多い意見ってどうなっちゃうのってことになりますよね。

委員 なので、そこはそこで残せばいいじゃないですか。第1候補、第2候補、第3候補、第4候補とか出すといいじゃないですか。

事務局 そうなると何かというと1票しかないものを第2候補、2票あるものを今、このアンケートで行くと、その他が1票ずつなので、それを候補にするのはちょっと辛いところがあるのかなということで、個人的には考えます。

委員 辛いというのは。

事務局 何かというと、45票の重みとやっぱり1票って考えたときに、45票、要するに半分近くの方の思いがやっぱり第1候補になるかと思うので、それをやっぱり総務部会として、あるいは第2候補として持っていくことが正しいかなと。そうすると、残りのものはやっぱり、票としては1票ずつなので、重みとしては1票分、1つの応募の意味しかないかなということで思います。公募ということをしたわけですから。

委員 なので、1回全てを見させていただいてという、それぞれの思いを知りたいというところが、まずそこをしてからじゃないですかという。

何で、そこにそんなに急いで、確かに先ほども言われたとおり、スケジュールがかつかつだというのはもう、重々承知なんですけれども、まずはしっかり皆さんの、それぞれ1票ずつ出てきた……ごめんなさい、1票じゃない、45票出た内容についても、内容を知ることが必要なんじゃないですかねという僕の思いなんです。それぞれ出ている45票、45とおりに、あと南、恵南中学校にも何票かあると思うんですが、人それぞれの考え方があってと思うので、それを1回、見る必要があるんじゃないのかなというふうに思っているというところ

委員 せっかく整理してもらっているんだから、生のデータを全部、全員で見る必要はないんじゃないかな。

委員 整理しているから見る必要はないですか。

委員 全員で全部、読まなきゃいけないということはない

委員 それで、参考資料として欲しいよというところです。

委員 それは出してもらえばいいんじゃない。

委員 だから、候補を出すのは、そこをまずやってからじゃないですか。全然、僕はいいんです。第1候補、第2候補という。もし、第3候補まで出すというのも1個、必要じゃないかなというふうに思ったんです。なので、先ほど言われたとおりに1票が少ないというふうになっているというふうにおっしゃられているんですけども、もしその考えの中にとてもすばらしい理由があったら、それも挙げてもいいんじゃないかなというふうに僕は思っているということです。候補として挙げることはいいんじゃないかなというふうに思っている。

事務局 例えば、第3候補は恐らく南中学校になると思っているけど、何でかというところと7票ある。それを追い越して1つのものを上げるというのは、すごくちょっと議論として、やっぱり公募をした重みというか、それを逆転することになるかなと思っている。

委員 公募って多数決じゃないんです？

事務局 当然、多数決ではないですけど、やっぱり多いことに、公募の1件1件の重みは同じだと思います。そうすると、追い越して下の1人しか応募していないものを第3候補にするということは、ちょっとすごく乱暴な議論かなと個人的には思います。

事務局 多分、こちらが今、話し合っていることの中で、〇〇さんが懸念されたことにきちっとした回答を言っていないので、多分、今、錯綜しているのかなと思って、成瀬さんは校名の中に基本構想の理念か何かを入れ込まなければならないのかという質問だったんです。それがひとつ、大事なのかなと。

でも、基本構想に、こういう学校にしたいからというのは校名に反映させなければならないということではないということなんです。その理由は、基本構想をこういう学校にしたいから例えば何々という、すごく変わった名前、その理由もよく分かるんだけど、必ずしも入れなくてもいいと。その中で、親しみやすさとか分かりやすさとかバランスとか、何かすごく単純なんですけど呼びやすさとか、大会に行ったら大きな声で呼びやすいとか、そういったことも大事。そういった理由で選んできているのも理由なので、必ずしも構想とか理念とか、そういうものが入らなくてもいいよというのが決め方である。

その中で、いろんな人が理由をつけてきたら、票がこれだけ分かれたよという結果ですので、まず、成瀬さんが懸念されていた基本構想を必ずしも入れなけ

ればなりませんかということは、そうではありませんということだけをお答えとして、議論を進めていただきたいなと思います。

委員 そこは重々理解しています。なので、基本構想とは関係ない思いというのがそれぞれにあるはずなので、そこを知りたい。せっかく公募したんですから。

委員 何となく、言っている意味は分かるんですけど、例えばなんですけど、この中に変な……希望とかってというのがあったりとかする。その希望っていうことをつけた人が、希望を持ってこういう学校にしてほしいんだという理由があって、もしその公募をしてきたとしていたら、それって多数決で決まったこの意見よりこの意見ってすごい大事だよって、みんなでもむこともできるよねっていうことなんじゃないかなって、私は酌んだんです。

そうすると、1個、2個だけではなくて、その思いがある学校名になったらいいよねっていうことも候補として挙がったらいいんじゃないですかって話だと思うんです。だから、思いの部分を見せてもらって、そういう思いがあってこういう学校の公募が来たんだねっていうことを知ると、3つ、4つとかになっていって、その中で選ぶっていうのもありなんじゃないかなっていうことだろうかなって私は思ったんです。

委員 すいません、〇〇さん、ありがとうございます。自分の伝えたいことはそういうことです。

副部長 そのほか、いかがでしょうか。（発言する者なし）

部長 事務局案で行くのか、やめて、全員で見た上でもう1回、やるということかという判断を全員で。

副部長 そうですね。まずは、この総務部会で公募の上位のものとするか、改めて理由を検討した上で総務部会案を立てていくかの決を取りたいと思います。（発言する者あり）

事務局 名前だけ切れば、当然、今でも見せることができる。どうしてもであれば、名前だけ切ればお見せすることは可能なので。

副部長 ありますか。

事務局 名前が入っちゃっているのも全部じゃないんですけど、例えば、この校名の理由が知りたいという話であれば、今、口頭でお伝えすることはできます。

副部長 いかがでしょうか。1案のところについても、理由を聞いた上でご検討いただくというふうで。

委員 そうしたら、その理由を聞いたらいいいんじゃないですか。

事務局 気になる校名があれば、言っていただければその理由をお伝えします。

委員 恵那（キボウ）というのと、恵那（カガヤキ）というのが。順番に全部、理由を1つずつ言っていただいて、その中で、先ほど言われたように、それはと思うものがあれば、皆さんが出していく。

事務局 恵那南中学校とかの理由も全部読んでいったほうがいいですか。109件分。
委 員 自分は聞きたいです。
事務局 じゃあ、全部読んでいきましょうか。順不同なので、順番に並んでないので、
すいませんが校名と……。 (発言する者あり) すいません。
恵那中学校、無難なもので。
次は、恵那南中学校 (恵南中学校)、恵那地区の学校は東西南北だから。
南恵那中学校、立地と同地区他校を考えると、恵那南だが、同校の高校がある
ため。
恵那南中学校、恵南地域の学校が統合したから。
恵那南中学校、分かりやすい、高校名にそろえて。
山城ササユリ中学校 恵南地区のシンボルの1つに山城があり、戦国時代から
の心意気を伝えてくれます。さらに、恵南の山に自生しているササユリは心和
まれます。きれいな花です。花言葉も上品と、日本文化の心の礎であり、大切
にしたい気持ちです。これからの将来を背負っていく中学生の生活空間となる
中学校に、この2つの気持ちを届けたいです。
恵那南中学校、恵那北、西、東があるから。
恵南中学校、恵南だから、ほかはないと思う。
恵南、恵南地域だから。
恵那知新館中学校、昔の藩校が知新館だったから。
恵那南中学校、恵那市には東も西も北も方位を記した中学校があり、当然、南
をつけた中学のほうがベターだと思います。
希望中学校、未来に希望あふれるように。
恵南中学校、もともと、この辺りは恵那南部で恵南地方と呼ばれているから。
恵那南中学校、恵那の南地域にあり、現在、恵那東、西、北中学校とあるため。
恵那南中学校、旧恵南地区で、恵那北中学校、恵那東中学校、区別しやすい。
恵那南中学校、恵那西、東、北があるので、恵那南がよいと思います。
恵那南中学校、恵那市内に北、西、東とあり、南地区の中学校が統合するわけ
であり、地理的に分かりやすく、名称が覚えやすい。
恵那南中学校、恵那市の中学校全体を考えた東、西、北があるので、南だと思
います。
南部中学校、恵那の南地区に5つの中学校が集まっていることから、南部にし
てみました。
恵那花ノ木中学校、花ノ木は恵那市の木であり、みんながよく知っているから
身近に感じられる名前だと思います。
恵那南中学校、市内に東、西、北中学校があり、公正かつ広域的にバランスが
保たれるため。

知新館中学校、江戸時代に岩村につくられた藩校である知新塾より考えました。恵南の地から日本中へ、そして世界に羽ばたく人になってほしいと願い、つけました。

恵那みなみ中学校、これ、南が平仮名の中学校です。理由が特にない。

恵那西中学校、恵那東、西、北の3中学校があり、恵那南にすれば、恵那4中学校を覚えやすいと思います。

恵那南中学校、恵那市には、東、西、北と名前のついた中学校が既に存在しており、旧恵那市と恵南地域との連帯感を示す意味でも南とつけるのがふさわしいと感じる。

恵那南中学校、西中、東中があり、方角で分けるほうが分かりやすく、なじみやすい。

恵南中学校、以前の各学校名にこだわらない地域名を使うことで、統合を表現することで平等性もある。

恵那南中学校、恵那北、東、西中学校があるので、恵那南中学校でいいと思います。

南中学校、分かりやすいから。

恵那南五中学校、恵那南地区の5中学校が統合するため五中学校とするものがある。

恵那南中学校、既に恵那には恵那西、恵那東、恵那北、それぞれの中学校があるので。

伍虹中学校、人偏に漢数字の五で、虹と書いて伍虹中学校。5校に携わってきた人々の思いを未来につなげる。5色の虹のイラストのイメージも可。

恵那南中学校、西中と東中があるから南中でいいと思う。

恵那南中学校、恵那市の南に位置するのと、恵那南高等学校との統一性を考慮した。

恵南中学校、長年親しんできた地名をつけた。

恵那サウス中学校、恵那の南にあるから。

恵南五中学校、恵那市には、既に東中、西中、北中があるので、誰が考えても南中で決まりでしょう。こんなばかげた公募にお金をかけるのはやめてほしいと思いますが、あえてあげるとすれば5つの町村が一緒になったことをいつまでも忘れたいため、恵南五中学校がいいと考えます。

平仮名でけいなん、5地区の総称である恵南がよいと思いました。親しみやすく、読みやすいように平仮名にしました。

恵那南中学校、北、西、東が既にあるので、南が恵那としてまとまりがある。どこかの地区の名前が優遇されているわけでもなく、平等になる名称だと思います。

恵南中学校、この地域の呼称であり、古くから誰もが慣れ親しんでいる恵南を用いることで、統合となる5つの中学校のことや、新中学校の校区となる地域のことなどについて、誰もが容易に想起できる。また、2つの漢字であるために、生徒が校名を書きやすくなり、読み仮名も4文字であるために声に出して呼びやすくなるため、多くの人々が親しみやすい校名になるものとする。

恵南中学校、分かりやすく、シンプルに。

恵那南中学校、恵那北、恵那東、恵那西と来れば、恵那南しかないと思います。恵那言志中学校、学区域岩村町出身の儒学者である佐藤一斎先生の語録の名称からつけました。

恵南中学校、恵南地区の学校が集まっているから。

恵那南中学校、恵那北、恵那西があるので。

恵那南中学校、ほかの地域には、既に北とか東とか名前がついているようなので、シンプルに南でよいと思います。大事なことは名前じゃなくて中身なので。

恵南中学校、分かりやすくてなじみやすい。

南中学校、西、東、北中学校があり。

郷山中学校、恵南地区の自然豊かな総称して。

恵那サクラ中学校、南はありきたりなので払拭、明るいイメージに。

恵那南、恵那の南だから。

恵那輪和中学校、車輪の「輪」に平和の「和」です。恵南地区が1つになる輪と、和やかに成長してほしい願いを込めて。

恵那南中学校、市内には北、西、東とあるので。

恵那南中学校、恵那には北中、西中、東中があり、南の中学校だけなかったから。

南中学校または恵南、分かりやすい、なじみがある。

恵那立志中学校、校区の偉人、佐藤一斎の言志四録に「学を為すは志を立つるより尚（かみ）なるは莫し」とあり、志を立てることの大切さが述べられている。志を立てて、多くの仲間とともに勉強や運動など、様々な活動に取り組むことにより、そこから多くを学ぶことができる。そんな志を立てることを大切にする生徒を育む学校になってほしい。

恵南中学校、5町村が恵那市と合併する以前から、今回中学校が統合する地域全体を指す呼び名としてなじんできているもので、5つの中学校が一緒に取り組む行事などの冠にもついてきた恵南は、名前として分かりやすく、かつ統合後の中学校に通う子供たちが同じ地域に暮らしていることや、保護者地域の人が今の校区を超えて見守り育てていく、自分たちの地域の子供たちであることを象徴するものではないかと考えるため。

恵那南中学校、恵那西中学校があるので、南中学になれば分かりやすいと思

ます。

恵那希望中学校、子供の少年時代にみんな仲よく希望を持って楽しく生きてもらいたい。

小壮南中学校、生涯学び続ける人間を育てる、また、高い志を抱いて学べる場所。

大空南中学校、大きい希望を胸に将来に向かって進んでほしい。

恵那南中学校、恵那市内には地域に応じ、東中、西中、北中と設置されているので、均整を取るため、南があってもよいと思われま。

恵那南中学校、岩邑中学校、明智中学校、上矢作中学校、串原中学校等は地域名がついているが、統合歴のある恵那東中学校、恵那西中学校、恵那北中学校のことを考えるならば、単純に恵那南中学校の名称でよいと思います。5校もの統合の事情を考えると、無理に独自性を出さなくてもいいと思います。

恵南中学校、なじみ深いから。

恵那南中学校、恵那市南部にある中学校が統合するため。

恵南中学校、5か町村を恵南というから。

恵南中学校、この地域は恵那市に統合する前から恵南として親しまれ、我々の少年時代には広く通称として呼ばれることもありました。

かがやき恵南、若者たちに大きく輝く成人となるように期待する。

恵那南中学校、恵那西中学校、恵那東中学校ならば、恵那南中学校でいいと思う。

恵那南中学校、恵那市の最南端に位置し、最も寒い地に設立された中学校。

ちょっと読み方があれなんですけれども、岩山明串上中学校、町名の1文字を取った。

恵南中学校、岩村町、山岡町、明智町、串原町、上矢作町の5町内の合併なので恵南でいいと思います。

恵那南中学校、恵那西、恵那東、恵那北と文字数が合ったほうがいいから。

恵南五和環中学校ですか、恵南の後に漢数字の五、平和の和、環境の環、五和環。恵南地区の5中学校が統合されてまとまり、1つの和になり、発展することを願って命名しました。

恵那南中学校、既存の恵那東中学校、恵那西中学校、恵那北中学校と対応して、恵那南中学校とするとバランスがよい。

南中学校、南地区に属しているから。

恵那南中学校、恵那市内中学校は西、東、北がある。やはり、位置的に南であり、一番ふさわしい。

新東濃中学校、東濃（5か町村）、昔からなじみのある響きがいいのかなという思い。

恵南中学校、恵那郡時代は恵南、恵北とっていた経緯があり、恵南は団結力が強く、いろいろな交流がありました。また、郡大会などでは恵北の方々とも顔見知りになり、年を重ねて今でも交流のある人もいます。

恵那南中学校、現在、恵那東中学校、恵那西中学校、恵那北中学校があり、南を加えて所在地が分かりやすく、表現、表示、会話がしやすく、親しみやすい。その他、書類、広報等効果的。

南中学校、現在、中学校3校は東、西、北があり、南に位置する場所であるため。

南中学校、恵那中心地より南にあるから。

恵那南中学校、市内には北、西、東とあるので北中学校、西中学校と東があり、恵那南なら地域がよく分かるため。

五郷中学校、漢数字の「五」にふるさとの「郷」ですか、「郷」という字。5校の中学校が一緒になるから単純に思いました。三郷が三つの郷が一緒になってそうなったように。

恵那南中学校、恵那市の南地区にあるため。

恵那南中学校、現在、恵那北、恵那西、恵那東中学校があるので、恵那市の南地区にあるということで恵那南中学校でよいと思う。何かの大会、県大会や全国大会に出場したとき、恵那市の中学校とすぐ分かるので恵那は入れるべき。

明恵中学校、明るい恵那の「恵」です。明智の名を残し、この地域を表す。岩村は入れなくても分かる。

恵那輝中学校、生徒一人一人がきらめく、キラキラ光る、生き生きとして明るさがあふれる。

恵那南中学校、これ以外にない。

南中学校、恵那市には東、西、北中学校があります。だから、南中と聞いただけで位置的にすぐ分かります。もし変わった校名がつけば、現在の東、西、北中も変更しなければバランスおかしくなると思います。

山河中学校、「ふるさとを尊い、志を持って道を開け」と説いた松下幸之助さんを尊敬するからです。

恵那南中学校、市内に、既に恵那北、西、東中学校があるため。

恵那南中学校、恵那には東中、西中、北中があるので、南部の南中がいい。

恵南中学校、恵南地区である、恵那の南に位置していること。

知新館中学校、文教藩として全国に名をはせた藩校名を校名とし、文教の市として活性化してほしい。あわせて、恵那南高校も知新館高校としてはどうでしょう。

恵南中学校、場所、恵南地区のため。

恵那南中学校、恵南地域の新しい中学校のため。

恵那南知新中学校、温故知新の精神を受け継ぎ、学ぶことを大切にする精神を養う。

恵那南中学校、やはり恵那市の東西南北に中学校が位置するということ。

恵那南中学校、東西南北、バランスのよい名前。

5サクラ中学校、「5」「サクラ」中学校と書いて、「ファイブサクラ」中学校。5校が集まって新中学校、入学生を祝ってくれるかのように桜が咲いている。

恵那南中学校、恵那市内の中学校が統一した校名になるかと思えます。

恵那南中学校、恵那市の中学校、東、西、北中学校があり、恵那の中学校は合併してから何年もたっている。もう、「恵み」という字は使用しなくてもいいと思うから。

南中学校、分かりやすい。

恵南中学校、理由なし。

恵那南中学校、将来的に恵那南高等学校との連携校あるいは一貫校となることを目指して、さらには恵那南地区唯一の中学校としての存在となるためにも、この校名がふさわしいと思えます。県教委と恵那南高との連携を早急に協議してください。さもないと、恵那南高校が閉校になるのではないのでしょうか。恵那南地区活性化のためにもこういった視点でも統合を考えてほしい。

ささゆり中学校、恵那市の花だから。

南風中学校、南方（恵那市の）より、よき風が吹きますようにという思いを込めて。

以上になります。

副部会長 ありがとうございます。

今、お聞きいただいたその他の回答のところを頂きましたが、委員の皆さんの中で、ぜひこの理由を聞いて、候補として入れてはどうかという案がございましたらご提案いただきたいんですけどもいかがでしょうか。

改めて、もう1回、理由を聞きたいという案がございますか。

委員 すみません、知新館のところ、もう1回、言ってもらってもいいですか。

事務局 知新館は2票でしたっけ。

委員 恵那知新と知新館ですか。

事務局 あります、すみません、探すのに時間がかかります。

委員 あと、希望も聞きたいんですけども。

事務局 恵那希望中学校というのがありまして、恵那希望中学校は、子供の少年時代に皆仲よく希望を持って楽しく生きてもらいたい。

委員 希望もなかったですか。

事務局 希望もあつたような気がします。恵那がつかないやつ。

知新館中学、文教藩として全国に名をはせた藩校名を校名とし、文教の市として活性化してほしい。あわせて、恵那南高校も知新館高校としてはどうでしょう。

恵那南知新中学校というのもありまして、温故知新の精神を受け継ぎ、学ぶことを大切にする精神を養う。

恵那知新館中学校、昔の藩校が知新館だったから。

希望中学校、未来に希望あふれるように。

知新館中学校、江戸時代に岩村につくられた藩校である知新塾により考えました。恵那の地から日本中へ、そして世界に羽ばたく人になってほしいと願いつけました。

副部会長 よろしいですか。いかがでしょうか。

それでは、その他の回答の中から、特にこの総務部会案として候補として挙げたほうがよいというご意見がないようですので、こちらの公募で今、一つ一つご意見をいただいたところに基づきまして、恵那南中学校と恵南中学校の2つについて、これがふさわしいというご意見を多く頂いております。

総務部会の案としてそれを尊重し、この2案を総務部会案としてすることに皆様、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）では、ご賛成多数ということで、総務部会……。

Z o o mのご参加の委員さん、いかがでしょうか。よろしいですか。（「オーケーということで」と呼ぶ者あり）では、こちらの恵那南中学校と恵南中学校の2案を総務部会案として、この後、幹事会、理事会に上げていくということで決しましたので、よろしく願いいたします。

3 連絡事項について

副部会長 では、レジュメの3番です。連絡事項について、事務局からお願いします。

事務局 次回の総務部会についてですが、もう、ここで校名については一度、案を決めていただいたので、次回やっていきたいことが制服について、また再開したいと思っております。

ただ、ちょっとまだ、事務局のほうで皆さんに諮るところが整理できていないので、またちょっと時間を頂いて、できれば7月中にはやりたいと思いますが、また委員長さん、副委員長さんと相談しながら時期を決めて連絡させていただきたいと思っておりますので、今のところ何日ということは決めておりませんが、また連絡させていただきたいと思っておりますのでお願いしたいと思っております。

副部会長 ありがとうございます。では、次回の第10回の総務部会については、課題の5、制服、体操服、かばん、上履きについての内容についてご検討いただくということで、また事前に事務局のほうから資料を送っていただけたらと思っております。

ので、そちらをご覧いただき、会のほうにご参加いただければと思います。

委員 その資料を送っていただくときに、大体、目安でいいので、幾らから幾らかかるということを計算してもらえないですか。

副部長 制服やいろんな体操服等の価格帯ですね。

委員 そうすると、総合的にそろえたら幾らぐらいかかるのかというのが判断基準にはなっていると思うので。

事務局 ごめんなさい、次回、そこまで具体的なものが出せるかどうかというのは、判断していただくのが、これとこれとこれで選んでくださいねという内容になるかどうかは今、分かっていないんです。

委員 じゃあ、平均的な価格でもいいので、何か価格の目安が出るといいなと思っています。

事務局 恐らく価格の目安、例えばよその学校のこれぐらい、ブレザーだとかそういったところでやっているのがこの値段みたいなのが分かればいいというなら出せると思うんですけど、ただ、このA業者、B業者、C業者者が幾ら、幾らじゃなくて、大体、世の中こういうのをそろえるとこれぐらいというような、それぐらいの判断ぐらいのものでいいですか。了解です。

委員 大体、こういうのをそろえると、制服と、ジャージとかばんとというのを新しくすると、平均的に幾らぐらいかかるのかという。

事務局 そちらということですね。分かりました。

事務局 あくまで出したのは目安ということで。

委員 平均でと書いてもらえば。平均というか、目安で。

事務局 今、この物価が上がっているので、多分皆さんが買っていただくときにその価格で買えるかどうかというのは自信がないです。

委員 なので目安でいいです。

事務局 現在の価格ということで出させていただくということでよろしいですね。

委員 そうすると、負担になる金額がどれぐらいかという目安がついてくるので、そうしたときに、じゃあ本当にそういう制服を選ぶのか、もともとあるやつでいいというふうになるのかというところにもなると思うので。

事務局 なるほど、貴重な意見、ありがとうございます。

副部長 では、事務局のほうでそういった情報の収集もよろしくお願いいたします。それでは、以上で……。

委員 すいません、校名のこの2個の動きは。これ、2案を上げて、どういう動きになるのか。

事務局 第1候補、第2候補という形でこの後、幹事会に上げていきます。幹事会、理事会で決定していただきまして、決定したものを総会に諮るというような流れになってくるかと思っています。

委員 ありがとうございました。

副部長 よろしかったですか。

それでは、長時間にわたりましてご議論いただき、ありがとうございました。

それでは、第9回総務部会をこれで閉じさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。お疲れさまでした。